

保育の待機児童は市立保育所で対応すべき！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



みなみ保育所

奥州市議会は、7月18日議会全員協議会を開きました。市当局から10項目の説明があり、日本共産党奥州市議団は、市民の立場で質しました。

奥州市は「奥州市立教育・保育施設統廃合ロードマップ」で令和6年度末で、閉園予定のみなみ保育園（奥州市水沢真城）を1年早めて、令和5年度末で閉園する方針を示しました。

令和5年度に向けた入園募集に希望者なく、令和5年4月1日時点の児童数は5歳児8人のみです。令和6年度の入園募集を行い、入園しても、次年度の転園が児童の大きな負担となります。この

ような状況を踏まえ、計画よりも一年早めて令和5年度末をもって閉園すると説明しました。

待機児童の状況は、

千葉敦議員は、今年度の保育所の待機児童数の状況とその原因と対応策について、質しました。

民間受け入れが不足

担当部長は、「令和3年、4年と私立保育施設が増えて保育の供給量増により、待機児童がゼロになってきた。5年度に入り1歳児の待機児童が8人発生した。既存の保育所の受け入れが定員数を下回っているからである。保育士不足、子どもの減少を見越して大胆な採用ができないなど、民間保育所の状況を確認しながら、必要な対策を取っていく」と述べました。

待機児童になぜ対応

できないのか

今野裕文議員は、8人の待機児童になぜ対応できないのか、どういう事情なのか、保育士不足が言われてきたのではないかと質しました。

民間の保育供給量落ちる

担当部長は「保育士不足に対して、奨学金への補助金の対応により、成果は出てきた。現状、民間の保育の供給量が落ち始めているのはなぜなのか、調査していく」と述べました。

みなみ保育所で受け入れすべきでは

今野議員は、民間で受け入れられ、8人の待機児童の受け入れはみなみ保育所でやるべきでは、若い人たちの環境をみれば、入れないのは酷な話だと迫りました。担当部長は「みなみ保育所は廃止が決まっている、あと1年で閉園するので、現状ではできない」と述べるにとどまりました。



国見平温泉

国見平温泉の今後の対応は

菅原明議員は、衣川の国見平温泉が昨年度末から、温泉経営を検討していた事業者と協議を行ってきたが、合意に至らず交渉を断念せざるを得なかったと説明があったので、その要因は何か、合わせて今後の施設の活用をどのように捉えているか、質しました。



日本共産党
参議院議員
山添拓

7月18日

マイナカードの強制はやめて、必要な人には保険証を交付せよ！

議員団の「保険証廃止撤回・マイナンバー問題追及委員会」で個人情報保護委員会、デジタル庁、厚労省などからヒアリング。

先週の報道では、政府はマイナ保険証を持たない人向けの「資格確認書」を申請を待たずに交付する検討を行うとされていました。しかし

今日厚労省は、「決定したことはなにもない」と否定。検討しているのかどうか回答はありませんでした。

障害があったり認知症が進んだり、申請が困難な人がいる以上、手元に届かない事態を避けるには申請を待たずに届ける方策をとるしかありません。そしてそれは、いまの保険証を維持するのが最も簡便です。

記者会見で小池書記局長は、予算委員会の閉会中審査を要求。集中審議で岸田首相が国会で説明すべきです。

担当主幹は、「昨年の2月頃から6月まで、7回協議を行ってきた。市が、譲渡前に行う施設の改修、設備更新、一部解体等及び譲渡後の施設改修補助金の額・率・補助期間がひめかゆ温泉や旧衣川荘を上回る内容だったので、合意を得ることができなかった。また、今後の施設のあり方については、振興会に今後の活動方針の報告をお願いしている、協議、検討を進めていきたい」と述べました。